

どうぶつサイエンスの歴史

獣医師 高橋 拓

どうぶつサイエンスとは

どうぶつサイエンスは、秋田拠点センターアルヴェ内の自然科学学習館と大森山動物園の獣医師との共同企画で毎年実施しています。動物園にいる動物を教材として動物のふしぎを見て、考えて、触って、手を動かして動物に対する興味と命について学習するイベントです。

どうぶつサイエンスの歴史

2005年度冬から始まったどうぶつサイエンスは、2022年まで18年の歴史があります。動物の身体の部位に注目してその特性について学んだり、動物園の獣医師のお仕事を学んだりしてきました。

印象に残っているのは、2011年に2回に渡って開催した「骨からみる命シリーズ」です。この年から「アルヴェとミルヴェ（動物園）の命のコラボレーション」と題して内容が充実していきます。その一つが、今では携帯電話にも搭載しているものもありますが、当時は珍しいハイスピードカメラを使用した教材作りです。スーパースロー動画でよりわかりやすく見せたいという思いで、中古のデジカメを購入して撮影しました。その時は、各動物（人間も含む）の食べ方や歩き方について学び、撮影した動画ではヤギと馬では同じ草を食べさせても食べ方がはっきり違う事が分かりました。

その他、大陸の動物シリーズ、干支の動物シリーズなどリピーターの参加者も楽しめるよう、内容がかぶらないように試行錯誤し実施してきました。

その他、大陸の動物シリーズ、干支の動物シリーズなどリピーターの参加者も楽しめるよう、内容がかぶらないように試行錯誤し実施してきました。

過去のテーマ一覧

年	どうぶつサイエンスⅠ	どうぶつサイエンスⅡ	どうぶつサイエンスⅢ
2005			アルヴェから冬の動物園へGO！（食）
2006	足	消化	羽の不思議にせまる
2007	視力	食べる	毛皮・皮ふ
2008	うむ	どうぶつのお医者さん	
2009	「つかむ」～指のはたらき～	どうぶつのお医者さん	
2010	もよの不思議	冬にそなえて	
2011	骨からみる命 パートⅠ	骨からみる命 パートⅡ	
2012	食べ物からみる命 パートⅠ	食べ物からみる命 パートⅡ	
2013	しっぽの秘密をさぐる	顔の秘密をさぐる	
2014	骨のひみつをさぐる	表皮のひみつをさぐる	
2015	あしのひみつをさぐる	耳のひみつをさぐる	
2016	うんちのひみつをさぐる	鳥のひみつをさぐる	
2017	どうぶつのお医者さん	イヌ科のどうぶつのひみつをさぐる	
2018	大陸シリーズ第1弾 南アメリカ大陸	大陸シリーズ第2弾 アジア	
2019	大陸シリーズ第3弾 アフリカ大陸	ネズミのなかまのひみつをさぐる	
2020	中止	ウシのなかまのひみつをさぐる	
2021	どうぶつのお医者さん（中止）	どうぶつのお医者さん	
2022	どうぶつのお医者さん	いろいろな動物の耳のひみつ	



骨からみる命（2011）

2022年の内容紹介

春のテーマは、一番人気の「どうぶつのお医者さん」。

動物園獣医師の1日をVTRで視聴し、動物病院の施設を見学、レントゲン検査や血液検査での異常を見つけてもらいます。また、実際に動物から採血している様子を見ることで獣医師の仕事を実感してもらいます。最後に、参加者に獣医師になってもらい、動物の心拍数、呼吸数、体温などを測る診察体験をしました。

秋のテーマは、「いろいろな動物の耳のひみつ」。

2022年のポスターにバッチリ写っているトラの耳の模様の「なぜ」や、2023年の干支にちなんでウサギの耳のひみつを学びました。また、普段は見ることの出来ないフクロウの耳を間近で観察し、音の間こえ方についても人間と違う事を学びました。

これまで参加してくれた皆さんは、とても勉強熱心なことが心に残っています。参加者の興味を引き出し、それを更に楽しくさせることも私たちの役目であると思います。これからも動物園は見るだけの場ではなく、学習とワクワクの場でもあることを伝えていけたらと思います。



レントゲンで動物の内部を観察してみよう



フクロウの耳はどんな構造をしているかな？